

国内クレジット認証委員会御中

実績確認概要書

平成 30 年 2 月 23 日

審査機関名： ペリージョンソンレジストラ
クリーンディベロップメントメカニズム株式会社

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	もやし栽培排水からの排熱回収再利用による省エネルギー事業
承認番号	JCDM-PJKC0874
排出削減事業者名	オシキリ食品株式会社
排出削減共同実施事業者名	公益財団法人 北海道環境財団
事業実施場所	オシキリ食品株式会社当別工場： 北海道石狩郡当別町若葉 27 番地 62
事業の概要	もやし栽培時に於ける散水後の排水熱を専用排熱回収装置により回収し、回収した熱をもやし栽培に還元し、もやしの発芽、育成に使用する化石燃料を削減させ、CO2 削減を達成する。
排出削減量の計画	2011 年度：1,201 tCO2 2012 年度：1,201 tCO2 2013 年度：1,201 tCO2 2014 年度：1,201 tCO2 2015 年度：1,201 tCO2 2016 年度：1,201 tCO2 2017 年度：1,201 tCO2 2018 年度：1,201 tCO2 (事業実施期間合計：9,608 tCO2)
クレジット認証期間	開始日 2011 年 4 月 1 日 終了予定日 2019 年 3 月 31 日

排出削減方法論	方法論 018-A：回収した未利用の排熱への熱源の切り替え
---------	-------------------------------

2. 本実績確認の対象期間

2013年4月1日 ～ 2016年12月31日（第3回実績報告）

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	3,720 tCO ₂ （2013年4月1日 ～ 2016年12月31日）
-------	--

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	<p>排出削減量は、継続して承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを、関係者へのヒアリング及び入手した関連資料より確認した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 承認排出削減事業計画通りに、事業実施場所であるオシキリ食品株式会社当別工場において熱交換器が設置されていることを現地にて確認した。 2) 本実績報告期間において導入設備が稼働していることを、本実績報告期間における積算熱量計の記録等の資料により確認した。 3) 事業開始日が承認排出削減事業計画通りであることを、事業者への質問などにより確認した。 4) その他、本事業の承認排出削減事業計画において、プロジェクトの質に影響する重要な変更が無いことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	<p>排出削減量が承認排出削減方法論に従って算定されていることを確認した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) モニタリング方法について排出削減事業計画書に基づき適切に実施されていることを確認した。 2) 回収された熱量について積算熱量計によりデータを取得し、適切に記録・集計され、使用量の把握・管理が確実に

	<p>なされていることを確認した。</p> <p>3)上記の変更を含む排出削減量の算定式及び算定に使用されている排出係数等が方法論及び承認排出削減事業計画に従っており、算定結果が正確であることを確認した。</p> <p>4)その他、排出削減量の算定において重大な変更がなされていないことを確認した。</p>
算定期間がクレジット認証期間の終了日を超えないこと	算定期間は、2016年12月31日までであり、認証期間の終了日である2019年3月31日を超えていない。

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価（該当する場合）
特になし。

6. 特記事項

本モニタリング期間における再生可能エネルギー利用量については原油換算 1,302.5kLであることを確認した。